

船橋市の商工業・観光振興の課題および今後の方向性  
(基礎調査報告書より抜粋)

船橋市の商工業・観光振興の課題および今後の方向性は以下の通り。

(図表) 船橋市の商工業・観光振興の課題および今後の方向性

	商工業の課題	エビデンス (SWOTに準拠)	今後の方向性(施策)
<b>(商業)</b>			
1	商店街の活性化(社会的機能の強化)	9, 11, 15, 35, 39, 44, 47, 48, 49, 50	商店街のまちづくり機能の強化(SDGs) 商店街組織の強化 次世代商店街リーダーの育成 情報発信力の強化 商店街設備(街路灯等)の維持促進
2	個店の活性化(商業機能の強化)	7, 12, 13, 16, 17, 44, 71	個店の経営基盤強化 空き店舗対策の推進 販路拡大の促進
<b>(工業)</b>			
3	モノづくり企業の競争力強化	18, 19, 20, 24, 42, 57, 60	新製品の開発力および販売力の向上 海外への販路拡大の促進 成長産業の立地促進
4	イノベーションの促進	4, 22, 26, 42,	イノベーション環境の整備
5	操業環境の改善(産業用地の不足対策)	34, 37, 57, 58, 59	産業用地開発の検討 起業・創業向け施設の整備
<b>(観光)</b>			
6	観光地としての魅力増進	1, 2, 6, 10, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 65, 66, 67	船橋市の観光振興のあり方の明確化 エリアごとのコンセプトの設定 市内エリアの回遊性の向上 体験観光の推進 観光を発信する多様な主体の育成
7	地域特産品等の知名度・ブランド力の向上	5, 10, 27, 28, 29, 30, 65, 66	特産品の開発強化 船橋製品のブランド力強化
8	インバウンドへの対応力向上	27, 37, 38, 51,	インバウンドの取り込み強化
<b>(共通)</b>			
9	起業・創業の活性化	26, 34, 57, 58	起業・創業(スタートアップ)支援 起業家・創業者のネットワーク化の推進 起業家マインドの育成
10	雇用の確保促進	1, 34, 39, 47,	事業者の雇用確保支援
11	就業者の就業環境向上	25, 53, 55, 64	働き方改革の推進 福利厚生環境の整備
12	事業承継	44, 57	事業承継の促進
13	デジタル化(DX)の推進	16, 36, 52, 62	デジタル化(DX)の推進支援
14	カーボンニュートラルの推進	35, 49, 61	カーボンニュートラルの推進
15	大規模災害時のリスクヘッジ(特に臨海部)	43, 54, 63, 70	大規模災害時の対応力強化

(注)エビデンスの数字は、内部環境・外部環境分析(SWOT分析)に準拠。

内部環境・外部環境分析（SWOT分析）

船橋市の商工業・観光の内部環境（強み・弱み）と外部環境（機会・脅威）は以下の通り（出所は、本報告書のページ数）。

【強み(Strength)】		出所
(全体)		
1	人口が増加している(マーケットが拡大)	21
2	大消費地である関東圏に立地している	214
3	鉄道・高速道路等のアクセス利便性が高い	223
4	産官学連携が可能な大学が近隣にある(日本大学、東邦大学、千葉工業大学)	221
5	豊富な地域の農水産物(梨、小松菜、ニンジン、スズキ、コノシロ、海苔養殖など)	214
6	認知度が高い(市外住民の約7割が訪問経験あり)	200
(商業)		
7	年間商品販売額が県内2位の水準となっている	28
8	大型小売店の集客力が高い	30,34
9	まちづくり活動に積極的な商店街が多い	167
10	山口横丁や仲通りなどの横丁文化がある	225
11	NPO(158団体、県内1位)など地域人材が豊富	219
12	市民の船橋市のイメージは「商業の盛んなまち(67%)」が最多	180
13	市民の商業環境に対する満足度(71%)が高い	182
14	市民の商店街利用頻度が向上(週1回以上利用:2014年16%→2024年21%)	185
15	市民の商店街のまちづくり活動に対する期待が高い(求める40%、求めない16%)	190
16	個店のキャッシュレス決済が進展(導入済み(予定あり):2020年42%→2024年57%)	122
17	個店の設備投資意欲が旺盛(過去3年間の設備投資実績あり:小売業・飲食店ともに5割程度)	140,216
(工業)		
18	製造品出荷額等が県内4位の高水準かつ増加傾向(インフレの影響もあり)	69
19	製造業の業種別構成比が高い(船橋市23%、千葉県13%)	65
20	多様性のある産業構造(京葉食品コンビナートから中小製造業まで多種多様な製造業が立地)	66,76
21	景気に左右されにくい食品製造業が多い(従業員構成比:48%)	76
22	新たに生み出した付加価値が大きい(1事業所あたり11億円)	83
23	投資意欲が旺盛(投資総額:平成24年96億円→令和3年213億円)	75
24	中小製造業の高い技術力(加工賃収入:県内2位)	66
25	働き方改革への対応が進展(取り組んでいる:2020年30%→2024年50%)	115
26	ベンチャープラザ船橋による企業支援	224
(観光)		
27	アンデルセン公園の高い集客力(トリップアドバイザー:日本のテーマパークランキング全国21位)	181,201
28	梨農家が北部地域に集中している	181,201,218
29	南船橋駅周辺地域の再開発に伴うまちの魅力の向上	223,226
30	プロスポーツチームがある(千葉ジェッツふなばし、クボタスピアーズ船橋・東京ベイ)	223
31	市外住民が船橋市を訪れた際の満足度(51%)が高い	205
32	市外住民の船橋市の再訪意向(62%)が高い	206
33	市外住民の市内の施設・イベント等の経験度が上昇(船橋競馬場、アンデルセン公園など)	203

【機会(Opportunity)】		出所
34	日本経済が成長局面にある(2024年のGDPは既往最高)	3
35	SDGs(脱炭素)の推進機運の高まり	4
36	デジタル・トランス・フォーメーション(DX)の推進機運の高まり	6
37	成田空港の機能強化と高速道路網の整備進展	9
38	インバウンドがコロナ禍の収束に伴い既往最高水準で推移	11

【弱み(Weakness)】		出所
(全体)		
39	少子高齢化が一部地域で進行(松が丘、大穴、高根・金杉など)	61
40	昼間人口が少ない(昼間人口比率:船橋市84%、同規模市99%)	39
41	道路の慢性的な交通渋滞	223
42	船橋市ならではの核となる産業がない	214
43	臨海部の液状化・津波災害のリスクの高まり	228
(商業)		
44	事業所数・従業者数・年間商品販売額が減少	22,23,28
45	大規模店の店舗面積が減少(平成28年536㎡→令和3年508㎡)	36
46	市民の消費需要の7%程度が市外に流出している	32,33
47	商店街数が減少(商店街の二極化が進行)	158
48	商店街活動が衰退傾向(背景は店主の高齢化の進行)	158
49	商店街のSDGsの取り組みが低調(取り組んでいる:商店街3%、個店27%)	126,164
50	商店街の高齢社会への対応が不十分(取り組んでいる:23%)	172
51	商店街が外国人来街客の対応をしていない(取り組んでいない:79%、わからない:21%)	174
52	個店のデジタル・トランス・フォーメーション(DX)の取り組みが不十分(取り組んでいる:21%)	132
53	雇用不足感が強い(不足:小売業51%、飲食店55%)	147
54	個店のBCPの策定が不十分(策定意向あり:25%)	134
55	個店の働き方改革への対応が不十分(取り組んでいる:小売業44%、飲食店12%)	151
56	市民の3分の2程度は商店街を利用していない	185
(工業)		
57	事業所数・従業者数が減少	67,68
58	住工混在地域(山手、海神等)への人口流入による操業環境の悪化	73,215
59	工業用地が不足している	72,73,215
60	海外展開の取り組みが低調(取り組んでいる:2~14%)	90
61	SDGsの取り組みが低調(取り組んでいる:31%)	93
62	デジタル・トランス・フォーメーション(DX)の取り組みが不十分(取り組んでいる24%)	99
63	BCPの策定が不十分(策定意向あり37%)	100
64	雇用不足感が強い(不足:62%)	111
(観光)		
65	観光資源(寺社仏閣、景勝地など)が乏しい	156
66	地域特産品やご当地グルメの知名度・ブランド力が低い	156
67	市内の観光関連事業者の連携が弱い	156

【脅威(Threat)】		出所
68	国内の人口減少・高齢化が進行	15
69	円安や地政学的リスクなどを映じたインフレのマイナス影響	17
70	大規模災害の発生リスクの高まり(台風・豪雨の大型化や首都直下型地震の発生など)	20
71	消費者ニーズの多様化・複雑化	7,8,14
72	地域間競争の激化(定住促進、企業誘致等)	19